

(2) 生涯学習

生涯学習分野については、平成28年度から「第5次千葉市生涯学習推進計画」に基づき各種施策を進めています。

千葉市生涯学習推進計画の目標

市民が自ら学んだ成果を生かし、
活力あるコミュニティを形成できる環境づくりを進める
～学びを通して地域がつながるまち 千葉市～

「成果指標」における「達成状況」の記載について

各指標について、H30末(中間)目標値に向けたH29末現状値の状況を4段階に分類します。

区分	説明（成果指標の達成状況基準）
◎	H29末現状値がH30末(中間)目標値以上
○	「H29末現状値とH27末現状値の差」が「H30末(中間)目標値とH27末現状値の差」に対し60%以上
△	「H29末現状値とH27末現状値の差」が「H30末(中間)目標値とH27末現状値の差」に対し60%未満
×	H29末現状値がH27末現状値未満

※数値データの出典などについては、各成果指標の右下に示しています。

「アクションプラン」における「進捗状況」の記載について

各計画事業について、H30末(中間)目標値に向けたH29末の状況を示します。

区分	説明（計画事業の進捗状況基準）
順調	計画に対し、概ね計画通り進捗している。 「新規」「拡充」：各年度の目標事業量に対し、定量的に事業量を測れる事業は8割以上の進捗を目安とし、その他の事業は目標事業量からの遅延・乖離がないかを目安とする。 「継続」：H27年度事業量（規模）と比較して、同等であることを目安とする。
達成	計画事業が計画期間の途中で終了するもの
遅れ	計画に対して事業進捗に遅れが出ている、「継続」で事業規模を縮小した。
休止	事業を休止し、次年度以降に再び実施する予定
中止	事業を中止し、今後も実施しない。

1 学習活動のきっかけの提供

1-1 生涯学習の普及啓発

施策の方針

- 市民が学びの楽しさ、大切さに興味・関心を持ってもらえるよう、様々な機会・手法を活用して情報を発信し、学習のきっかけづくりにつなげます。
- 国・県・大学等、市以外が提供する学ぶ場についても積極的に情報発信し、学習機会の拡大に努めます。
- 学習に関する各種相談を受け付けることで、スムーズな学びはじめ・学び直しをお手伝いします。

成果指標

生涯学習振興課

	指標	H27 末 (現状値)	H28 末 (現状値)	H30 末 (中間目標)	H33 末 (最終目標)	H29 末 (現状値)	達成 状況
1	生涯学習に関心のある市民の割合	76.9% ※1	80.5%	83.0%	90.0%	75.9%	×
		WEBアンケート (※2)					
2	生涯学習に関する情報が充実していると感じる市民の割合	56.4% ※1	19.3% ※3	60.0%	70.0%	22.0% ※3	×
		WEBアンケート (※2)					

※1 H27 末現状値は、平成 26 年 9 月に実施したインターネットモニターアンケートの数値を使用

※2 H28 末現状値より、調査方法をインターネットモニターアンケートから WEB アンケートに変更

※3 H28 末に調査方法を WEB アンケートに変更した際、設問内容を変更したため、数値が大きく変動している。

No.	達成状況に対する説明	今後の取組み等
1	<ul style="list-style-type: none"> 各種媒体による学ぶ場と学ぶための情報提供や、生涯学習イベント開催は継続して実施していますが、平成 29 年度末に行ったWEBアンケートにおいて、生涯学習に関心のある市民の割合は、平成 28 年度末に比べて 4.6 ポイント下降しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習に関心のある市民の割合や生涯学習イベントの参加者数は下降しているため、各種事業の実施や、生涯学習に関する情報提供などにより、生涯学習に関心のある市民の割合が増えるよう努めます。
2	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度末に行ったWEBアンケートにおいて、生涯学習に関する情報が充実していると感じる市民の割合は、平成 28 年度末に比べて 2.7 ポイント上昇しました。アンケートの設問項目を平成 28 年度末より直接的な表現に変えたため、平成 27 年度末の現状値、平成 30 年度末の中間目標値と、一概に比較することができません。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民への生涯学習に関する情報の充実を図るため、引き続き、様々な機会・手法を活用して情報を発信していくとともに、効果的な情報発信について検討していきます。また、国や県、大学、専門学校等が実施する講座等について、情報の収集や提供をしていきます。

アクションプランの進捗

生涯学習振興課

No.	事業名	新規・拡充 項目、継続	H27 末 (現状値)	H28 末 (実績)	H30 末 (中間目標)	H33 末 (最終目標)	H29 末 (実績)	進捗 状況
1	学ぶ場と学ぶための 情報提供の充実	SNS 等の活用、市以外 が実施する 講座情報の 収集・提供	実施	拡充	拡充	実施	拡充	順調
2	学習のきっかけづく りとなる生涯学習イ ベントの開催	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
3	eラーニングの普及 事業の実施	eラーニング 普及事業の 実施	検討	実施	実施	継続	実施	順調

生涯学習振興課

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターにおいて、Twitter や Facebook での講座、イベント及び地域の情報等の掲載・広報を行いました。また、ホームページ上で市内の「講座・イベント情報」「生涯学習サークル情報」のデータベースを公開し、情報提供を図りました。 公民館では、市政だよりや公民館だより、チラシなどにより、学ぶための情報の提供に努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> SNS や公民館だよりなど様々な媒体によって情報を発信していきます。また、生涯学習センターや公民館において、市以外が実施する講座等についても、収集及び提供を行います。
2	<ul style="list-style-type: none"> 「まなびフェスタ」や「千葉県科学フェスタ」、「公民館文化祭」などのイベントを通して、生涯学習の意義や学びの楽しさを伝えることができました。科学フェスタメインイベントでは、燃料電池自動車クラリティの展示やイベントの進行を高校生が務めるなど新たな試みを実施しました。来場者は 17,894 人で、来場者アンケートによると、来場者の約 99% が今後も参加したいと回答しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習の普及啓発のため、「まなびフェスタ」や「千葉県科学フェスタ」、「公民館文化祭」といった生涯学習イベントを継続して開催します。
3	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターにおいて、民間事業者（スクー）と連携したオンライン動画学習サービスを継続して実施しました。センター地下のブラウジングカフェにおいて、Wi-Fi 環境を整備し、iPad の無料貸し出し等、オンライン動画学習サービスを無料で提供することにより、e ラーニングの普及促進を図るとともに、年間を通して、各々が自由に気軽に学べる機会を提供しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習の普及啓発のため、e ラーニングの普及事業などを継続して実施します。

1-2 学習環境の整備

施策の方針

- 学びに興味を持った市民が学習活動をはじめるとあって、快適で参加しやすい学習環境の確保に努めます。
- ICT等の活用を通じた生涯学習施設の利用サービスの向上に努めます。
- 生涯学習施設等の保全・改修により、学習環境の維持・向上に努めます。

成果指標

生涯学習振興課

No.	指標	H27 末 (現状値)	H28 末 (現状値)	H30 末 (中間目標)	H33 末 (最終目標)	H29 末 (現状値)	達成 状況
3	市の生涯学習施設が 5年前よりも利用しやす くなったと考える市 民の割合	31.5%	—	36.0%	40.0%	—	—
		※1	※2	生涯学習関係団体アンケート調査			
4	生涯学習施設を年1 回以上利用したこと のある市民の割合	44.1%	—	50.0%	60.0%	73.1%	◎
		※3	※4	WEBアンケート(※5)			

※1 H27 末現状値は、平成 26 年 11 月に実施した「生涯学習関係団体アンケート」の結果を基に算出

※2 「生涯学習関係団体アンケート」は各目標年度に実施のため、平成 28・29 年度は未実施

※3 H27 末現状値は、平成 27 年 1 月に実施した「市民1万人のまちづくりアンケート」の結果を基に算出

※4 「市民1万人のまちづくりアンケート」は3年に1回の実施のため、平成 28 年度は未実施

※5 「市民1万人のまちづくりアンケート」の質問内容削除により、平成 29 年度から WEB アンケートにより調査

No.	達成状況に対する説明	今後の取組み等
3	※生涯学習関係団体アンケートは各目標年度に実施のため、平成 29 年度は未実施であり、達成状況を確認できません。	・引き続き、関連するアクションプランを推進します。
4	・「生涯学習施設を年1回以上利用したことがある市民の割合」は、平成 27 年度末に比べて 29.0 ポイント上昇しました。なお、「市民1万人のまちづくりアンケート」の質問内容削除により、平成 29 年度から「WEBアンケート」により調査を行っています。	・改修や修繕を計画的に行うことにより、施設の利用環境の充実を推進します。

アクションプランの進捗

生涯学習振興課、中央図書館、市民総務課、こども企画課

No.	事業名	新規・拡充項目、 継続	H27 末 (現状値)	H28 末 (実績)	H30 末 (中間目標)	H33 末 (最終目標)	H29 末 (実績)	進捗 状況
1	生涯学習施設 等の利用環境 の充実	生涯学習センター の施設稼働率	51.5% (H26)	58.2%	54.0%	55.0%	62.8%	順調
		公民館の施設稼働 率(*調理室を除く)	45.2% (H26)	46.8%	48.0%	50.0%	46.8%	順調
2	図書館サービ スの向上	地区図書館の開館 時間の拡大	—	—	1 館	1 館	—	順調
		分館における休日 開館の実施	—	—	3 館	3 館	—	順調
3	子どもの居場 所の確保	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
4	公民館の改築	檜橋公民館の改築	基本設計	建設中 (H29 年 10 月供用 開始予定)	H30 年 4 月 供用開始	供用	H29 年 10 月 供用開始	達成
5	公民館の改修	冷暖房設備改修	3 館 (H26)	計 1 館 (H28:1 館 実施)	1 館 (H30 末ま での累計)	4 館 (H33 末ま での累計)	計 2 館 (H29:1 館 実施)	順調
		屋上防水・屋根改修	3 館 (H26)	計 4 館 (H28:4 館 実施)	6 館 (H30 末ま での累計)	12 館 (H33 末ま での累計)	計 6 館 (H29:2 館 実施)	順調
		トイレ改修	1 館 (H26)	計 0 館 (H28:実施 設計)	—	3 館 (H33 末ま での累計)	計 4 館 (H29:4 館 実施)	順調
6	中央図書館・ 生涯学習セン ター等の改修	中央図書館・生涯 学習センターの改 修	中央監視装 置更新 (H26)	実施設計	アトリウム ガーデン屋 根防水	工事完了済	H30 年 3 月 工事完了	達成
			実施設計	吊天井落下 防止対策	工事完了済	H30 年 3 月 工事完了	達成	
		南部青少年センタ ー・みやこ図書館 白旗分館 受水槽 更新工事	—	—	実施設計、 工事	工事完了済	—	休止

(表の続き)

No.	事業名	新規・拡充項目、 継続	H27 末 (現状値)	H28 末 (実績)	H30 末 (中間目標)	H33 末 (最終目標)	H29 末 (実績)	進捗 状況
7	コミュニティセンターの改修	外壁・屋上防水改修	工事 2 館 (H26)	計工事 0 館 (H28:0 館 実施)	—	中間見直し 時に設定	計工事 0 館 (H29:0 館 実施)	順調
		空調・熱源改修	実施設計 1 館 (H26) 工事 1 館 (H26)	計工事 1 館 (H28:1 館 実施)	工事 1 館 (H30 末ま での累計)	中間見直し 時に設定	計工事 1 館 (H29:0 館 実施)	順調
		劣化度調査	—	計 2 館 (H28:2 館 実施)	2 館 (H30 末ま での累計)	中間見直し 時に設定	計工事 2 館 (H29:0 館 実施)	順調

生涯学習振興課、中央図書館、市民総務課、こども企画課

No.	主な成果と考察	今後の取り組み等
1	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターでは、利用時間帯の変更や利用料金の値下げ等の方策により、稼働率が向上し、施設稼働率が平成 29 年度末で 62.8%と、平成 28 年度末に比べて 4.6 ポイント上昇しました。 公民館の平成 29 年度末の施設稼働率は、平成 28 年度末と同様 46.8%となっています。 南部青少年センター、コミュニティセンター等においても、施設稼働率を向上させるため、利用環境の充実を図っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 快適で参加しやすい学習環境の場の確保に努め、多くの市民に利用していただけるよう、施設稼働率の向上に努めます。
2	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年 3 月に開館した「みずほハスの花図書館」において、休館日である月曜日の開館を実現しました。市内の他の図書館と比較して、開館日数を平成 29 年度は 49 日増加させることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 第 3 次実施計画に位置付けた、新たな図書館計画の中で、この成果等を踏まえ、開館時間の延長や祝日開館の必要性、それを実現するための方策について検討します。
3	<ul style="list-style-type: none"> 土曜ひろばなどの公民館での講座、公民館の一部諸室の自習室としての開放、さまざまな主体が連携しながら運営するこどもカフェ、自然の中で自由に遊ぶことができるよう整備されたプレーパークなどの事業により、安全で安心して活動できる子どもたちの居場所を確保することができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 「プレーパーク」や「土曜ひろば」といった子どもの居場所を確保する事業などを継続して実施します。

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
4	<ul style="list-style-type: none"> 利用者・関係者からの要望を受け、当初の予定を6か月前倒しし、平成29年10月より供用開始しました。改築事業においては、賃貸借契約により実施したことにより、基本設計を除く、実施設計・工事を一貫して実施できることとなり、改築に係る公民館の休止期間を短縮することができました。施設は犢橋市民センターとの複合施設として建設され、効率的な施設配備ができたことに加え、バリアフリーや省エネルギーに配慮しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 市有施設として管理していきます。
5	<ul style="list-style-type: none"> 冷暖房設備や屋上防水改修は、建築部と連携し、保全一元化事業の中で、中長期保全計画に基づき改修を進めています。トイレ改修は、建築部の事業だけでなく、生涯学習振興課の修繕も併せて行い、洋式便器の設置率を早期に向上させるよう前倒しして進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 建築部・資産経営部と連携しながら、必要な改修や修繕を行っていきます。
6	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館・生涯学習センターの改修については、建築部・資産経営部との連携により中長期保全計画に基づく改修を実施しました。 南部青少年センター・みやこ図書館白旗分館の受水槽更新工事については、緊急性が低いとの判断から、改修の実施が先送りとなりました。 	<ul style="list-style-type: none"> 中央図書館・生涯学習センターは中長期保全計画にもとづく改修期を迎え、大規模な保全改修工事が予定されています。建築部や施設管理者と連携し、施設利用への影響を考慮しながら、効率的な施設改修を実施していく必要があります。
7	<ul style="list-style-type: none"> 資産経営部及び建築部と連携し、市有建築物の計画的保全事業として実施することで、計画的に改修を進めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 資産経営部及び建築部と連携しながら、中長期保全計画に基づく改修を計画的に進めていきます。

2 多様な学習機会の確保

2-1 郷土への愛着を深める学習機会の提供

施策の方針

- 郷土に対する理解と愛着を深めるため、地域の歴史や文化資源を生かした学習機会を提供します。
- 郷土の伝統・文化を適切な保護・保存方法により後世に引き継ぐとともに、ふるさと意識の醸成を図ります。

成果指標

文化財課

No.	指標	H27 末 (現状値)	H28 末 (現状値)	H30 末 (中間目標)	H33 末 (最終目標)	H29 末 (現状値)	達成 状況
5	郷土の歴史や文化財 に愛着を感じる市民 の割合	38.3% ※1	— ※2	47.5%	50.0%	55.7%	◎
WEBアンケート (※3)							

※1 H27 末現状値は、平成 27 年 1 月に実施した「市民 1 万人のまちづくりアンケート」の結果を基に算出

※2 「市民 1 万人のまちづくりアンケート」は 3 年に 1 回の実施のため、平成 28 年度は未実施

※3 「市民 1 万人のまちづくりアンケート」の質問内容削除により、平成 29 年度から WEB アンケートにより調査

No.	達成状況に対する説明	今後の取組み等
5	<p>・国の特別史跡となった加曽利貝塚や千葉市の礎を築いた千葉氏などを筆頭に、PR イベントや普及活動を積極的に行った結果、加曽利貝塚博物館、郷土博物館共に来館者数も増加しており、郷土の歴史や文化財に対する市民の興味・関心が高まったと考えられます。なお、「市民 1 万人のまちづくりアンケート」の質問内容削除により、平成 29 年度から「WEB アンケート」により調査を行っています。</p>	<p>・より多くの方に満足いただける学習機会を提供できるよう、引き続き、関連するアクションプランの充実を図っていきます。</p>

アクションプランの進捗

生涯学習振興課、文化財課、文化振興課

No.	事業名	新規・拡充 項目、継続	H27 末 (現状値)	H28 末 (実績)	H30 末 (中間目標)	H33 末 (最終目標)	H29 末 (実績)	進捗 状況
1	加曾利貝塚の 国特別史跡指 定	総括報告書 の刊行	総括報告書 の作成	総括報告書 の刊行	総括報告書 の刊行	総括報告書 の刊行	総括報告書 の刊行 (H28 の実 績再掲)	達成
2	文化財の保存・ 活用の推進	ゆかりの家・ いなげの改 修	—	—	外壁等腐食 箇所修繕、 電気設備工 事	外壁等腐食 箇所修繕、 電気設備工 事完了	—	休止
		旧検見川無 線送信所の 修繕	屋上防水実 施設計	屋上防水改 修工事完了	屋上防水及 び外壁補修 工事	屋上防水及 び外壁補修 工事完了	屋上防水改 修工事完了 (H28 の実 績再掲)	休止
		市民ギャラリ ー・いなげ (旧神谷伝 兵衛稲毛別 荘)の改修	基本設計	実施設計	耐震改修、 屋根防水改 修工事	耐震改修、 屋根防水改 修工事完了	—	順調
3	郷土の理解を深 める講座・事業 の充実	加曾利貝塚 など縄文時 代の理解を 深める講座・ 事業	11 事業	11 事業	13 事業	13 事業	15 事業	順調
		千葉氏など 郷土の歴史 の理解を深 める講座・事 業	24 事業	26 事業	26 事業	26 事業	25 事業	順調

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年 10 月 13 日付けで国の特別史跡に指定されました。平成 29 年度の加曽利貝塚博物館の来訪者は年間 7 万人を超え、加曽利貝塚の価値と魅力を多くの人々に伝えることができました。 	<ul style="list-style-type: none"> 加曽利貝塚の発掘調査や史跡整備を進めるとともに、新たな縄文体験の提供など来場者のニーズを踏まえた事業を積極的に実施してまいります。
2	<ul style="list-style-type: none"> ゆかりの家・いなげでは、瓦葺屋根・外壁・戸袋等の小破修繕を実施しました。 旧検見川無線送信所では、屋上防水工事を平成 28 年度に実施したことにより、雨漏りに伴う劣化は低減しています。 市民ギャラリー・いなげは、耐震改修工事の着工を予定していましたが、応募者がなく入札不調となったため、工事の開始時期を平成 30 年度からに見直しました。なお、平成 33 年末までの工事完了予定に影響はなく、遅れは生じない見込みです。 	<ul style="list-style-type: none"> ゆかりの家・いなげは、地域有形文化財としての価値を損うことがないよう、緊急性を考慮しながら適切な補修を行っていきます。 旧検見川無線送信所は、当該建物を含む区画整理地の土地利用等の検討及び計画策定中は、建物の劣化状況を注視しつつ、現状維持に努めます。 市民ギャラリー・いなげは、平成 30 年度から耐震改修工事を予定しています（2 か年継続事業）。
3	<ul style="list-style-type: none"> 加曽利貝塚など縄文時代の理解を深める講座・事業については、定期イベントでのコンテンツの充実（物販拡充等）や発掘体験・土偶ペーパークラフトなど新規事業の拡充を図ったことにより、入館者及び講座等の参加人数が大幅に増加しました。また出張展示やイベントの反応も良く、知名度の向上に効果があったと考えられます。 千葉氏など郷土の歴史の理解を深める講座・事業については、体験型の事業を増やしたことで、これまで関心のなかった層にも郷土史に興味を持っていただくことができました。今後も訴求力のある事業を展開するとともに、博物館活動の基礎となる研究活動を充実することが不可欠と考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 加曽利貝塚など縄文時代の理解を深める講座・事業については、特別史跡となった加曽利貝塚の知名度の向上や遺跡の価値をより多くの方々に知ってもらうため、来館者のニーズを踏まえ、事業の拡充を図ります。 千葉氏など郷土の歴史の理解を深める講座・事業については、平成 30 年度は大学と連携し、市民向けの公開講座を実施するほか、千葉氏関係の史料調査など事業の充実を図っていきます。

2-2 市民ニーズに対応した学習機会の提供

施策の方針

- 急速に変化・多様化する現代社会において、多岐にわたる市民の学習ニーズに対応するため、幅広い分野にわたる学習機会を提供します。
- 科学・技術に関する講座・事業を通して、市民のライフスタイルに科学が溶け込む環境づくりを進めます。
- 様々な立場の市民が、生涯を通じて必要な知識・技能を身に付けられるよう、学び直しを支援します。
- 子どもから子育て世代、お年寄りまで、様々な世代のライフステージに応じた学習機会を提供します。

成果指標

生涯学習振興課

No.	指標	H27 末 (現状値)	H28 末 (現状値)	H30 末 (中間目標)	H33 末 (最終目標)	H29 末 (現状値)	達成 状況
6	公民館の講座の参加者の満足度	98.2%	98.5%	99.0%	99.5%	98.7%	△
		受講者アンケート調査					
7	「科学都市ちば」の認知度	38.6%	55.6%	43.0%	50.0%	56.7%	◎
		※1	WEBアンケート(※2)				

※1 H27 末現状値は、平成 27 年 2 月に実施した「インターネットモニターアンケート」の結果より算出

※2 H28 末より、調査方法をインターネットモニターアンケートから WEB アンケートに変更

No.	達成状況に対する説明	今後の取組み等
6	<ul style="list-style-type: none"> 「公民館の講座の参加者の満足度」については、市民の学習ニーズに対応するため、幅広い分野にわたる学習機会の提供を行い、平成 29 年度末は 28 年度末に比べ 0.2 ポイント上昇しました。目標値には達していないものの、平成 27 年度末、28 年度末の現状値から上昇していることから、今後の推移を見守ります。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズを的確に把握することなどにより、今後も参加者が満足する講座づくりを目指していきます。
7	<ul style="list-style-type: none"> 積極的な広報を続けてきたことで、「科学都市ちば」の認知度が半数以上になりました。平成 29 年度末の割合は 56.7%で、28 年度末に比べ 1.1 ポイント上昇しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 千葉県科学フェスタメインイベントの充実や、年間を通して各公民館等で開催されるサテライトイベントの充実、科学館事業の充実などにより、「科学都市ちば」の認知度を維持していきます。

アクションプランの進捗

生涯学習振興課、中央図書館、文化振興課、スポーツ振興課、高齢福祉課

No.	事業名	新規・拡充 項目、継続	H27 末 (現状値)	H28 末 (実績)	H30 末 (中間目標)	H33 末 (最終目標)	H29 末 (実績)	進捗 状況
1	現代的課題学習事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
2	文化・芸術学習事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
3	スポーツ・レクリエーション推進事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
4	「(仮称)瑞穂情報図書センター」の整備	「(仮称)瑞穂情報図書センター」の整備	検討	H29年3月28日供用開始	H29年3月供用開始	供用	供用	達成
5	科学関連学習事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
6	未来の科学者育成プログラムの充実	ジュニア講座の充実	実施	拡充	拡充	拡充	実施 (受講者数減)	遅れ
7	キャリア教育の推進	キャリア教育の推進	検討	実施	実施	実施	実施	順調
8	放課後子ども教室の推進	実施日数	21.2日/校 (H26)	19.8日/校	30.0日/校	前半3ヵ年の取組状況を踏まえ、見直し時に設定	19.8日/校	遅れ

(表の続き)

No.	事業名	新規・拡充 項目、継続	H27 末 (現状値)	H28 末 (実績)	H30 末 (中間目標)	H33 末 (最終目標)	H29 末 (実績)	進捗 状況
9	子ども読書活動 の推進	読書習慣 のある児 童生徒の 割合(小学 5年生)	45.2% (H26)	46.0%	49.0%	52.5%	48.1%	順調
		読書習慣 のある児 童生徒の 割合(中学 2年生)	46.9% (H26)	44.4%	49.0%	52.5%	44.5%	遅れ
		1か月間に 読んだ本 が0冊の 児童生徒 の割合(小 学生)	1.1% (H26)	0.6%	0.9%	0.8%	0.4%	順調
		1か月間に 読んだ本 が0冊の 児童生徒 の割合(中 学生)	7.9% (H26)	2.8%	6.4%	5.5%	1.6%	順調
10	青少年教育・少 年教育事業の 実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
11	家庭教育支援 事業の実施	「子育てマ マのおしゃ べりタイ ム」の実施 館数	21館 (H26)	22館	28館	28館	22館	遅れ

(表の続き)

No.	事業名	新規・拡充 項目、継続	H27 末 (現状値)	H28 末 (実績)	H30 末 (中間目標)	H33 末 (最終目標)	H29 末 (実績)	進捗 状況
12	高齢化社会に対応した学習機会の提供	生きがいづくり・仲間づくり、健康・福祉に関する講座の開催	実施	実施	拡充	拡充	実施	順調

生涯学習振興課、中央図書館、文化振興課、スポーツ振興課、高齢福祉課

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	<ul style="list-style-type: none"> 公民館では、情報（ICT）・防災・環境・健康・消費生活・歴史・国際交流など多岐にわたる現代的な課題に関する講座を実施し、社会の中で自立して、生涯にわたって生き抜く力や地域の課題解決を主体的に担うことができる力を身に着けた人材の育成に努めました。 生涯学習センターでは、社会の急激な変化に対応した各種学習内容を提供することで、幅広い世代の学習ニーズを満たす講座を実施しています。平成29年度は新規に消費者教育講座を実施しました。 図書館では地域の歴史など、身近な話題や生活に役立つ様々な分野の講座を開催しており、受講者アンケートで概ね高い評価を得ております。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民ニーズに対応した学習機会を提供するため、公民館や生涯学習センター、図書館での現代的課題学習事業を継続して実施します。
2	<ul style="list-style-type: none"> 市民が主体となるような事業や子ども・若者が文化芸術に親しむことのできる事業の実施を意識し、また、オリンピック・パラリンピックを見据えた文化事業の実施を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 車椅子アートプロジェクト等の文化・芸術事業の取組みを継続して実施します。
3	<ul style="list-style-type: none"> 重点事業であるトップスポーツ連携を行い、トップスポーツチームによる学校訪問を29校実施するなど、各種スポーツ施策に取り組みました。 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ推進計画に基づく各種スポーツ施策の取組み、及び取組状況の進行管理を行います。
4	<ul style="list-style-type: none"> 「みずほハスの花図書館」の供用を平成29年3月より開始しました。供用開始から半年経過後の平成29年9月に利用者アンケートを実施した結果、利用者の約9割が満足と回答しており、高い評価を得ています。 	<ul style="list-style-type: none"> 供用開始から1年経過後に、再度アンケート調査を実施します。収集した基礎データを基に、みずほハスの花図書館で導入したさまざまな先進的な取組みについて効果検証を実施します。

(表の続き)

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
5	<ul style="list-style-type: none"> 科学館では、館内の講座や企画展の他、館外でのワークショップなどのアウトリーチ活動、公民館や放課後子ども教室への講師派遣などにより、日常に科学が浸透する取組みを実施しました。 公民館では、科学関連学習事業を平成 29 年度は 55 講座実施し、子どもたちを中心に、科学・技術に親しみを感じさせることができました。 生涯学習センターでは、現代的課題での資源エネルギー問題、子どもチャレンジ教室での科学実験教室等、科学関連学習講座を 6 講座実施しました。小・中学生が休みの夏休みなどに科学関連の講座を実施し、子ども同士で課題に取り組むとともに、科学の面白さを学び、興味関心を持ってもらいました。 	<ul style="list-style-type: none"> 公民館や生涯学習センター、科学館などで、科学都市戦略事業方針に基づき、科学関連学習講座を継続して実施します。
6	<ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度の 66 人から平成 29 年度が 42 人と、昨年度から 24 人減となりました。しかし、講座後のアンケートでは、97.5%の児童が「楽しくできた」と回答し、さらに 95%の児童が「また参加したい」と回答しており、参加した受講生からは高い評価を受けております。 	<ul style="list-style-type: none"> 「遅れ」の理由としては、募集チラシの配布が各小学校の 5、6 年生の学級数分だったため、保護者の目に触れにくかったことが考えられます。来年度は各小学校の 5、6 年生の児童数分を配布し、保護者への認知度を上げるようにします。また、児童のニーズに沿った講座を準備するため、保護者アンケートでも希望があった野外観察を取り入れた新規講座を、平成 30 年度に千葉市動物公園にて立ち上げます。ジュニア講座の受講生が未来の科学者を目指す意欲を高めるとともに、中・高生対象の未来の科学者育成プログラムの受講につながるようにします。また、募集を電子申請でも対応するようにします。
7	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センターでは、女性のための就活支援講座や、地元企業を招いての交流会等、幅広い世代を対象としたキャリアプラン事業を実施しています。平成 29 年度は就労支援・雇用対策の一環として、労働局と連携し、「職業能力を高めよう」を拡充実施しました。 学校教育分野でのキャリア教育については P22 を参照。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、学び直し・キャリアアップに寄与する学習機会を提供し、個人生活の向上と共に、市民生活や地域産業経済を支える人材の育成を行います。 学校教育分野でのキャリア教育については P22 を参照。

(表の続き)

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
8	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室のモデル校 10 校においては、総合コーディネーターの活動支援により、プログラムの増加と実施日数の増加が見られたものの、市全体では、高齢化や共働き世帯の増加により協力員等の担い手が不足する中、安全管理やプログラム開発などの地域への負担が大きく、実施日数が伸び悩んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> 企業等による質の高い継続プログラムを実施するとともに、総合コーディネーターによる活動支援を継続し、実施日数の増加を図ります。また、「(仮称)放課後子どもプラン」を策定し、今後の事業展開の方向性を示します。
9	<ul style="list-style-type: none"> 「ファミリーブックタイム事例集」や「まほうの読書ノート」の配布、子ども読書まつりの実施など、子どもが自由に読書を楽しみ、読書の幅を広げていくことができるような環境整備や適切な支援を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの読書活動の推進を図るため、「まほうの読書ノート」の配布時期の前倒しや年長児用ノートのデザイン等仕様の見直しなど、適宜事業の見直しを行い、引き続き実施します。また、職場体験の受入れや団体貸出、図書館指導員の研修会への出席など、学校との連携をさらに強め、中学生の読書習慣の形成に努めます。
10	<ul style="list-style-type: none"> 公民館や南部青少年センターにおいて、学校では体験できない体験学習等の講座で、子どもたちが同じ体験を共有することにより、身体と心の健康増進や、社会的適応能力を高める効果がありました。また、青少年団体・少年団体等に施設の貸し出しを実施しています。 生涯学習センターでは、子どもの社会性やコミュニケーション能力、感性などを育む講座を平成 29 年度に 18 講座実施し、未来を担う子どもたちの育成を支援しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特性・地域住民のニーズ等を収集・把握しつつ、学校では体験できない体験学習、工作等の学習講座の実施や、青少年団体・少年団体等への施設の貸出を継続して実施します。
11	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育の支援や子育ての不安や悩みを解消するため、「子育てママのおしゃべりタイム」を公民館で実施しました。当該事業の担い手である子育てサポーターや地域の子育て世代のニーズに応じ、実施回数や場所を調整しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、人材確保等実施体制の強化を図りながら、地域の子育て世代のニーズに応じ、実施回数や場所を調整していきます。
12	<ul style="list-style-type: none"> 公民館、生涯学習センターでは、生きがづくり・仲間づくり、健康・福祉に関する講座を継続して実施し、高齢化社会に対応した学習機会を提供しています。 いきいきプラザ、いきいきセンターでは、年間 4 万人以上の高齢者が講座を受講し、健康増進や生きがいのある生活が送れるための役割を担っています。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き高齢者の健康増進や生きがいある生活が送れるよう、公民館や生涯学習センター、いきいきプラザ、いきいきセンター等で、生きがづくり・仲間づくり、健康福祉に関する講座などを実施します。

3 学びを生かしたコミュニティづくり

3-1 地域の担い手となる人材育成

施策の方針

- 地域における学習活動の活発化を図るため、専門的知識を持つリーダーをはじめ、地域・団体活動のリーダー、ボランティア等の人材を育成します。
- 講座などの学習活動をきっかけとして仲間づくり、絆づくりを進め、学習活動の担い手の育成につなげます。

成果指標

生涯学習振興課

No.	指標	H27 末 (現状値)	H28 末 (現状値)	H30 末 (中間目標)	H33 末 (最終目標)	H29 末 (現状値)	達成 状況
8	市民のボランティア活動・地域活動への参加状況	16.4% ※1	21.9%	23.0%	30.0%	13.5%	×
WEBアンケート (※2)							

※1 H27 末現状値は、平成 26 年 9 月に実施した「インターネットモニターアンケート」の結果より算出

※2 H28 末より、調査方法をインターネットモニターアンケートから WEB アンケートに変更

No.	達成状況に対する説明	今後の取組み等
8	<ul style="list-style-type: none"> • WEBアンケートの結果、市民のボランティア活動・地域活動への参加状況は、平成 28 年度末に比べて 8.4 ポイント下降しました。団体・グループ活動のリーダーやボランティアの育成や家庭教育支援事業の一部実施を引き続き行っておりますが、事業によっては参加者や登録者の伸び悩みが見えます。 	<ul style="list-style-type: none"> • ボランティアの活動機会を増やすこと、実施するイベントの広報PRに努め、地域における学習活動の活発化を図ります。

アクションプランの進捗

生涯学習振興課、高齢福祉課等

No.	事業名	新規・拡充 項目、継続	H27 末 (現状値)	H28 末 (実績)	H30 末 (中間目標)	H33 末 (最終目標)	H29 末 (実績)	進捗 状況
1	団体・グループ 活動のリーダー の養成・育成	指導者養成 研修 * 延受講者 数	333 人 (H26)	389 人	370 人	400 人	364 人	順調
2	ボランティアの 育成	ちば生涯学 習ボランティ アセンター 登録者数	1,634 人 (H26)	1,635 人	1,850 人	2,000 人	1,697 人	遅れ
3	家庭教育支援 事業の実施(一 部再掲)	家庭教育支 援チーム数	2 チーム (H26)	2 チーム	4 チーム	4 チーム	2 チーム	遅れ
		子育てサポ ーター人数	33 人 (H26)	36 人	42 人	42 人	39 人	順調
4	高齢化社会に対 応した学習機会 の提供 (一部 再掲)	健康・福祉・ 介護予防等 に有用な実 践的講座の 開催	実施	実施	拡充	拡充	実施	順調

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館では、団体・グループ活動のリーダーの養成・育成講座を実施しました。 ・生涯学習センターにおける団体・グループ活動のリーダーの養成・育成では、学校・地域支援者を強化していますが、平成 29 年度は新たに教育委員会学事課と共催での「地域コーディネーター研修」を実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域活動に役立つ講座を実施することで、指導者養成に取り組めます。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ちば生涯学習ボランティアセンターの登録者数は、前年度に比べ 62 人の増となっております。新規登録がある反面、高齢による登録抹消の申請もあるため、目標値に達していない状況です。 ・生涯学習センター、科学館、中央図書館では、施設の企画・運営等に協力する施設ボランティアを、研修等により育成しています。 ・博物館のボランティア登録者数は、毎年登録を外れる方はいるものの、新規応募者の登録により微増しました。ボランティアの行う活動は博物館の事業に広がりを持たせ、来館者の増加にもつながったと思われます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ボランティアを紹介するイベントの実施や、ボランティアコーディネート件数を増やすことで、ボランティアの活動機会を増やし、ボランティアセンターへの新規登録者の獲得に努め、高校生・大学生などの若年層や現役世代の登録促進も図ります。現状のメンバーに対する勉強会等も実施し、スキルアップを図っていきます。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての悩みなどを相談できる場所として認知されており、今後も継続的な需要が見込めます。また、家庭教育支援チームは、地域団体（育成委員会やPTAなど）との会議や共催で行う学習講座なども行っており、地域とのつながりも深まりつつあります。既存の 2 チームについては、構成員の高齢化が進んでいましたが、子育て現役世代の協力者が 4 人増え、チーム数は昨年度と同様になっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育支援事業の実施は、人材の確保について、引き続き、公民館や学校の協力を得て、子育てサポーターや青少年育成委員等の既存の家庭教育関連団体に適切な人材の紹介を呼びかけるとともに、チームが開催するイベント等についてもより一層の広報PRに努め、参加者を含めより幅広く参画を働きかけていきます。
4	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会や社会福祉事業団等と連携し、公民館や生涯学習センター、いきいきプラザ、いきいきセンター等で、高齢化社会に対応した講座を実施し、健康増進や生きがいのある生活を送ることができるよう支援しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、高齢化社会に対応した講座を実施するなど、高齢者の健康増進や生きがいがある生活が送れるよう支援していきます。

3-2 学習成果の活用機会の提供

施策の方針

- 学習の成果を社会・地域に還元できるよう、様々な活用方法や機会を提供します。
- ボランティア等が市民の学習ニーズに合わせて活躍できるよう、支援が必要な者とのマッチングや活動紹介等の機会を確保します。
- ボランティア等が自ら積極的に活動・情報発信できるよう、拠点となる場所を確保します。

成果指標

生涯学習振興課

No.	指標	H27 末 (現状値)	H28 末 (現状値)	H30 末 (中間目標)	H33 末 (最終目標)	H29 末 (現状値)	達成 状況
9	年 2 回以上学習成果 を地域に還元する団 体の割合	43.7% ※1	— ※2	47.0%	50.0%	— ※2	—
生涯学習関係団体アンケート調査							

※1 H27 末現状値は、平成 26 年 11 月に実施した「生涯学習関係団体アンケート」の結果を基に算出

※2 「生涯学習関係団体アンケート」は各目標年度に実施のため、平成 28・29 年度は未実施

No.	達成状況に対する説明	今後の取組み等
9	※「生涯学習関係団体アンケート」は各目標年度に実施のため、平成 29 年度は未実施であり、達成状況を確認できません。	・引き続き、関連するアクションプランを推進します。

アクションプランの進捗

生涯学習振興課、文化財課、中央図書館等

No.	事業名	新規・拡充 項目、継続	H27 末 (現状値)	H28 末 (実績)	H30 末 (中間目標)	H33 末 (最終目標)	H29 末 (実績)	進捗 状況
1	市民自主企画 講座や施設ボラ ンティアによる学 習機会の提供	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
2	学習成果の発 表機会の提供	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
3	青少年交流事 業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
4	ボランティアセン ター等における コーディネートの実施	ちば生涯 学習ボラン ティアセン ターにおけ るコーデ ィネート	198 件 (H26)	231 件	230 件	260 件	221 件	順調
5	生涯学習ボラン ティアの活動場 所の提供	生涯学習 センター内 にボランテ ィア活動ス ペースを提 供	検討	実施	実施	実施	実施	順調

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターでは、市民団体・グループ自身の企画・運営による市民自主企画講座、施設ボランティアによるパソコン等の学習相談会、登録ボランティアの実践・経験の場としてのミニ講座等、市民が自らの学習成果を発表・還元する機会の提供に努めました。 ・科学館では、プログラミング講座や化学実験講座などを実施しました。 ・加曽利貝塚博物館では、1,713件の案内を行い、約15,000人に対して展示解説や火おこし等の体験を行いました。加曽利貝塚博物館では解説を受けた人数が3割以上増加しており、ボランティアが活発に活動している状況が確認できます。 ・郷土博物館では、2,815回の展示解説を行い、約5,800人に対して展示解説を行うなど、来館者に学習機会を提供しています。 ・図書館では、育児サークル・保育施設・学校等の読み聞かせへのボランティア派遣を実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民自主企画講座や、ボランティアによる展示解説・案内・読み聞かせを継続して実施します。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターでは、まなびフェスタやボランティアフェアなど、学習成果の発表の機会、市民相互学習、世代間交流の場を提供することで、生涯学習活動の普及・支援を図りました。 ・公民館では、サークル・クラブ等の協議会等が主催する「公民館文化祭」などの学習成果の発表の場を提供することで、学習への意欲をより高め、生涯学習によるコミュニティづくりに寄与しました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、公民館文化祭やまなびフェスタ、ボランティアフェア等、学習成果の発表機会を提供していきます。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習センターでは、子どもチャレンジ教室など、小・中学生を対象とした学習・交流の機会を提供することにより、青少年の健全育成に寄与しました。 ・公民館や南部青少年センターにおいて、青少年団体へ施設を貸し出すことにより、青少年の自主的な行動を促すことができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもチャレンジ教室やゆめチャレンジ等の青少年交流事業や青少年団体等への施設の貸出を継続して実施します。

(表の続き)

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
4	<ul style="list-style-type: none"> • ちば生涯学習ボランティアセンターにおけるコーディネートの実施については、指導者や協力者が身近に見つからないという方と、ボランティアとして自身の知識・経験を地域社会に役立てたいという方の橋渡しを積極的に行っています。平成 29 年度は 221 件のコーディネートを行いました。 • 千葉県ボランティアセンター、千葉県国際交流協会では、登録ボランティアとのコーディネートを、千葉市民活動支援センターではボランティア情報の提供などを実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き、支援が必要な者とボランティアのマッチングをするため、ちば生涯学習ボランティアセンターにおけるコーディネートを積極的に行います。
5	<ul style="list-style-type: none"> • 生涯学習センター内に設置した「ラウンジ」でボランティアセンター新規登録者や未活動登録者によるミニ講座を実施することで、ボランティア活動のPRの機会となりました。講座を実演することで、その講座に参加した方から、ボランティアセンターへの依頼へとつながった事例もありました。 	<ul style="list-style-type: none"> • 引き続き、ボランティア等が自ら積極的に活動・情報発信できるよう、ボランティア活動スペースなどの拠点となる場所を提供します。

3-3 市民の参加・協働による学習活動の推進

施策の方針

- 地域が自主的に取り組む学習活動を支援し、地域課題を自ら解決するコミュニティづくりを目指します。
- 団体活動の後援及び情報発信の支援等を行います。
- 地域で活動する団体相互の連携を支援します。

成果指標

生涯学習振興課

No.	指標	H27 末 (現状値)	H28 末 (現状値)	H30 末 (中間目標)	H33 末 (最終目標)	H29 末 (現状値)	達成 状況
10	住民同士で地域課題の解決に取り組んでいると考える市民の割合	24.3% ※1	— ※2	27.0%	30.0%	28.9%	◎
WEBアンケート(※3)							

※1 H27 末現状値は、平成 27 年 1 月に実施した「市民 1 万人のまちづくりアンケート」の結果を基に算出

※2 「市民 1 万人のまちづくりアンケート」は 3 年に 1 回の実施のため、平成 28 年度は未実施

※3 「市民 1 万人のまちづくりアンケート」の質問内容削除により、平成 29 年度から WEB アンケートにより調査

No.	達成状況に対する説明	今後の取組み等
10	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携の推進、地域交流・多世代交流事業を実施することにより、平成 29 年度末に行った WEB アンケートにおいて、住民同士で地域課題の解決に取り組んでいると考える市民の割合は、平成 27 年度末に比べて 4.6 ポイント上昇しました。なお、「市民 1 万人のまちづくりアンケート」の質問内容削除により、平成 29 年度から「WEB アンケート」により調査を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域が自主的に取り組む学習活動、地域で活動する団体相互の連携を支援し、市民の参加・共同による学習活動の推進を図ります。

アクションプランの進捗

生涯学習振興課、学事課、健全育成課

No.	事業名	新規・拡充 項目、継続	H27 末 (現状値)	H28 末 (実績)	H30 末 (中間目 標)	H33 末 (最終目 標)	H29末 (実績)	進捗 状況
1	多様な主体による学習活動の推進	公民館、生涯学習センターにおいて多様な主体と連携して実施した事業数	103 事業 (H26)	114 事業	115 事業	120 事業	109 事業	遅れ
2	公民館を拠点とした地域連携の推進	公民館の利用を促し、地域住民のつながりを深める	検討	実施	実施	実施	実施	順調
3	地域交流・多世代交流事業の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
4	学校支援地域本部やコミュニティスクール等の推進	連携組織の設置	学校支援地域本部 小：2校 中：1校	学校支援地域本部 小：4校 中：2校	学校支援地域本部を含めた連携組織を小・中・高等学校の三割に設置	学校支援地域本部を含めた連携組織を全小・中・高等学校に設置	学校支援地域本部 小：10校 中：6校	順調
5	健全育成活動の推進	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
6	特別教室等の開放	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調
7	社会教育関係団体の育成	継続	継続	継続	継続	継続	継続	順調

No.	主な成果と考察	今後の取組み等
1	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習センター、公民館などにおいて、多様な主体と連携した講座を実施しています。市民自主企画講座など、市民による講座実施を推進することで、学びが生きるコミュニティづくりに貢献しています。平成 29 年度の実施事業数は、平成 28 年度の現状値から減少したものの、平成 27 年度の現状値からは上昇しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、NPO法人や高等教育機関、社会教育関係団体等の多様な主体と連携した学習活動を推進していきます。
2	<ul style="list-style-type: none"> 公民館を拠点とした地域連携の推進は、平成 29 年度において、緑が丘公民館で 3 事業、打瀬公民館で 1 事業を実施し、地域住民のつながりに寄与しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、公民館を拠点とした地域連携として、地域住民と連携した講座を推進していきます。
3	<ul style="list-style-type: none"> 公民館において、地域交流行事や伝承遊び講座等の多世代交流事業を継続して実施し、地域住民の交流や異なる世代間の交流を支援しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流事業や伝承遊び講座等の多世代交流事業を実施します。
4	※学校教育分野で記載（P62 参照）	※学校教育分野で記載（P62 参照）
5	<ul style="list-style-type: none"> 市が委嘱した青少年育成委員が、危険箇所の点検、レクリエーションやスポーツ活動、研修会、環境浄化活動や補導点検、あいさつ運動、地区の環境整備活動等を行いました。活動にあたっては、内閣府が提唱する「青少年の非行・被害防止全国強調月間」（7月）、「全国子ども・若者育成支援強調月間」（11月）、さらには「青少年を健全に育てる運動」などの趣旨を生かしながら、地域の青少年の健全育成を図りました。平成 20 年の「青少年の日（毎年 9 月第 3 土曜日）」及び「家庭・地域の日（毎月第 3 土曜日とその翌日曜日）」の制定を機に、それぞれの日を中心とした時期に活動を集中し実施しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報ツールの急速な普及や人間関係の希薄化等、青少年を取り巻く環境が年々大きく変化し、青少年が関わる事件・事故が多発している中、地域の中核となって青少年の健全育成に大きく寄与している青少年育成委員会活動への支援を継続していくとともに、より一層の活性化を促していきます。
6	<ul style="list-style-type: none"> 3 校が学校施設開放事業へ移行したことにより、利用人数は大幅に減少しました。学校施設開放事業は予算の制約がないことから、学校施設の更なる活用が期待できます。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校施設開放事業に順次移行します。 H30.4月 緑町・扇田小学校移行 H31.4月 瑞穂小学校移行予定
7	<ul style="list-style-type: none"> 公民館等で社会教育関係団体向けの研修を継続して実施し、団体活動や団体相互の連携を支援しました。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育関係団体向けの研修などの事業を継続して実施していきます。